

令和4年度の減災に係る取組結果の報告

国土交通省の取組状況

■ 流下能力対策

対策箇所

・堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所
 (上下流バランスを確保しながら実施)

計画: 2.65km (R5.3.31予定)

水系	年度	実施状況
吉井川水系	R3年度まで	2.65km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画: 2.61km (R5.3.31予定)

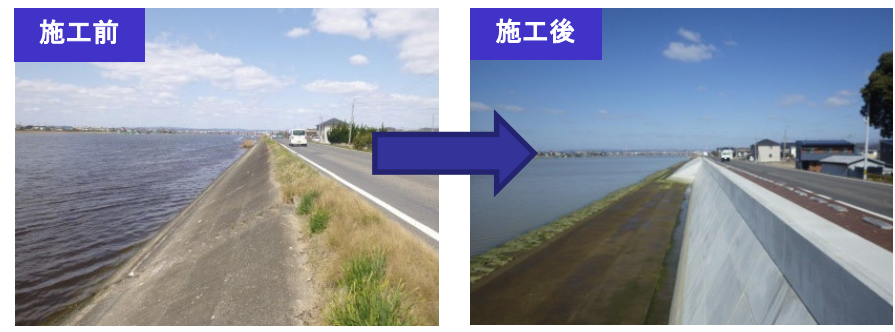
水系	年度	実施状況
旭川水系	R3年度まで	0.50km (累計19%)
	R4年度	0.50km (累計19%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画: 11.78km (R5.3.31予定)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	R3年度まで	11.45km (累計97%)
	R4年度	11.45km (累計97%)

見直しにより対策不要となった区間を含む



旭川水系



高梁川水系

■パイピング対策

対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所
- ・旧河道跡等、パイピングにより堤防が崩壊する恐れのある箇所

計画: 2.98km (R5.3.31予定)

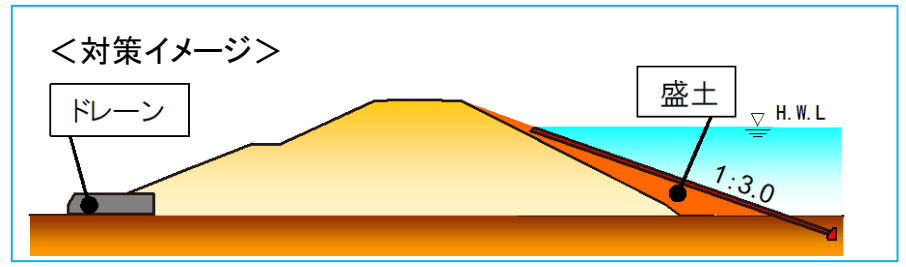
水系	年度	実施状況
旭川水系	R3年度まで	2.93km (累計98%)
	R4年度	2.98km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

■浸透対策

対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所



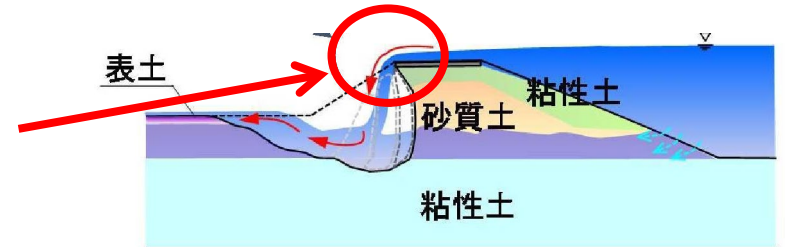
計画: 2.63km (R5.3.31予定)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	R3年度まで	2.48km (累計94%)
	R4年度	2.48km (累計94%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

■天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



計画：2.60km(完) (H31.3.31現在)

計画：1.23km(完) (H31.3.31現在)

計画：0.69km(完) (H31.3.31現在)

水系	年度	実施状況
吉井川水系	H28年度まで	2.60km (累計100%)

水系	年度	実施状況
旭川水系	H28年度まで	1.23km (累計100%)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	H28年度まで	0.69km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

見直しにより対策不要となった区間を含む

見直しにより対策不要となった区間を含む



吉井川水系



高梁川水系

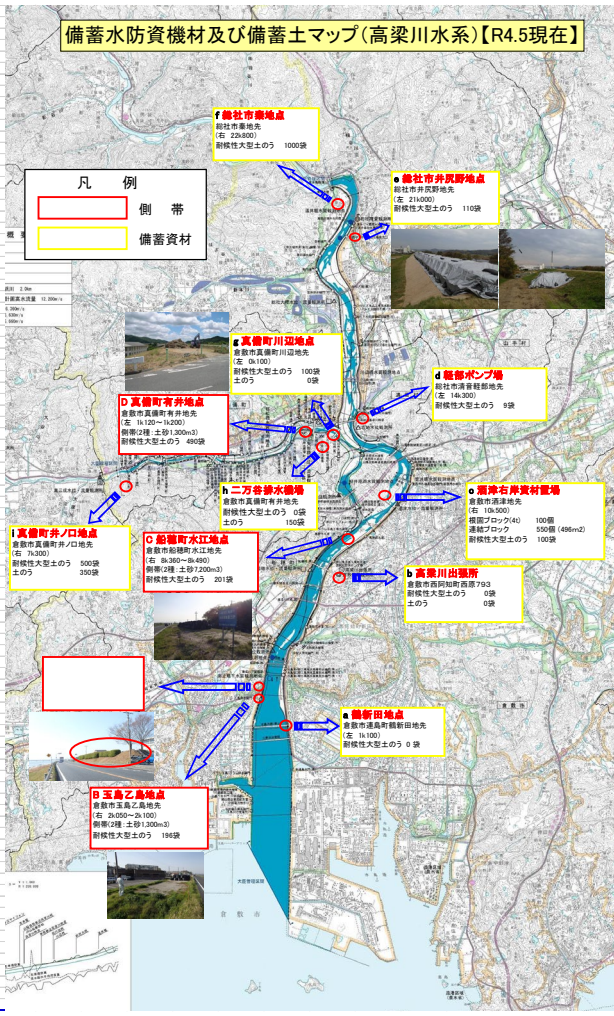
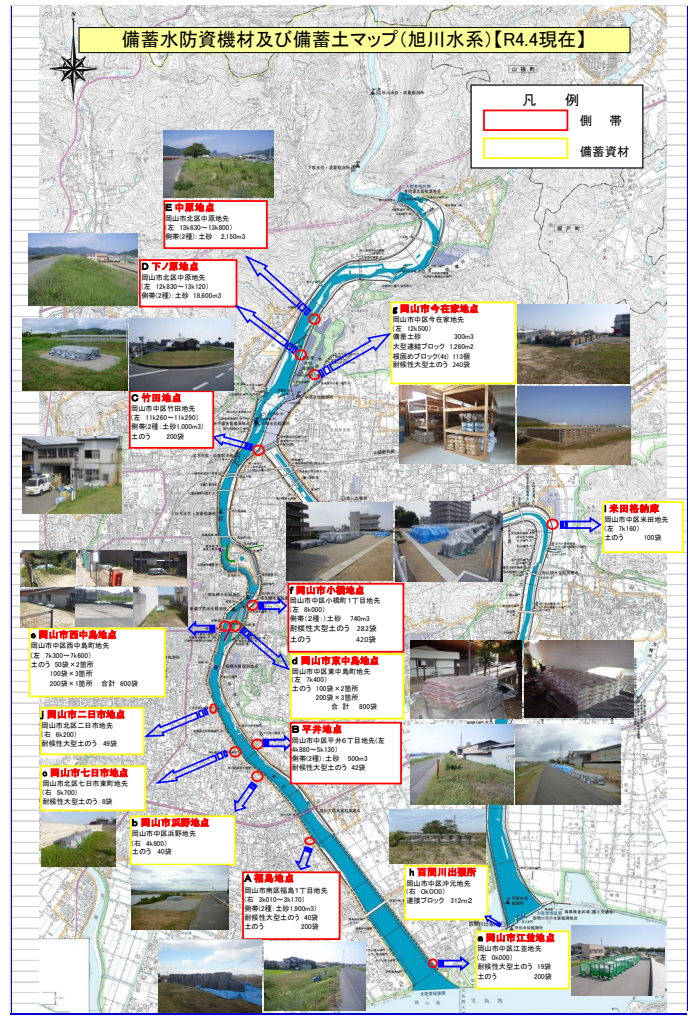
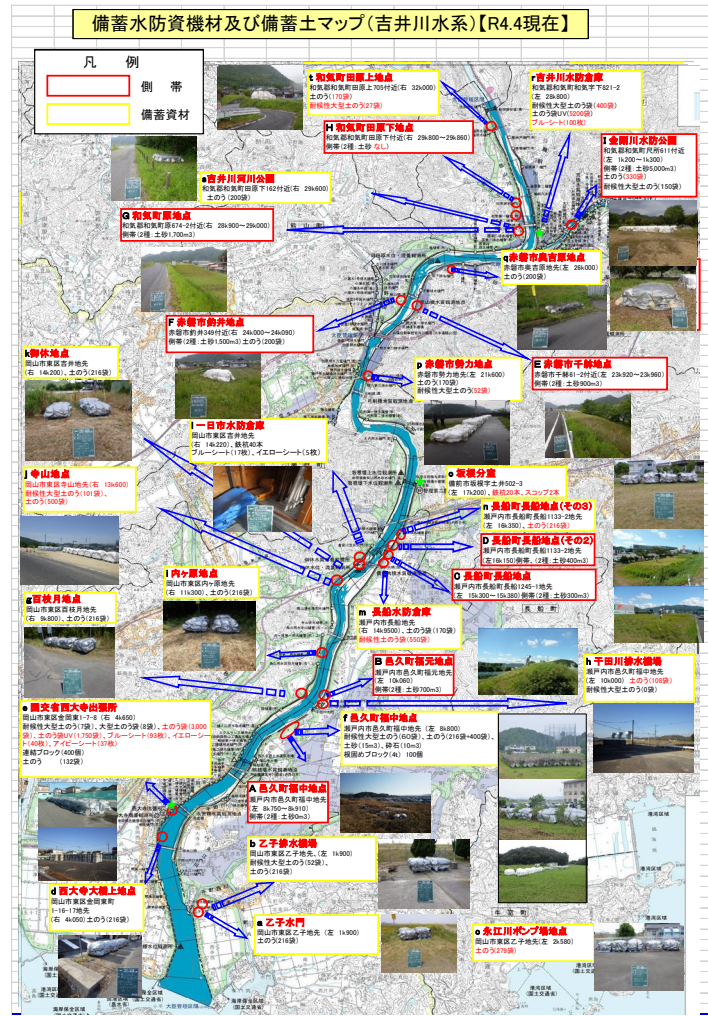
■まとめ

	吉井川水系	旭川水系	高梁川水系
流下能力対策	2.65km／ 2.65km(100%)	0.50km／ 2.61km(19%)	11.45km／ 11.78km(97%)
パイピング対策	—	2.98km／ 2.98km(100%)	—
浸透対策	—	—	2.48km／ 2.63km(94%)
堤防天端の保護	2.60km／ 2.60km(100%)	1.23km／ 1.23km(100%)	0.69km／ 0.69km(100%)

令和4年度末まで実績／全体計画(進捗率%)

■ 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。



■ 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表（R4.4現在）

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表（吉井川水系）

番号	保管場所	保管資材																保管場所	住所
		二種側帯	土・砂・石	土のう	土のう袋	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート	ブルーシート		
1	岡山県立岡山県立			1500													岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
2	岡山県立岡山県立			8000	10												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
3	岡山県立岡山県立			1000	5												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
4	岡山県立岡山県立			1700													岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
5	岡山県立岡山県立			1000	10												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
6	岡山県立岡山県立			4460	11												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
7	岡山県立岡山県立			3000	10												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
8	岡山県立岡山県立			600	24												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
9	岡山県立岡山県立			700	13												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
10	岡山県立岡山県立			400													岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
11	岡山県立岡山県立			9000	10												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
12	岡山県立岡山県立			2000													岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
13	岡山県立岡山県立			100	300												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	
14	岡山県立岡山県立			1600	50												岡山県立岡山県立	岡山県立岡山県立	

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表（旭川水系）

番号	保管場所	保管資材											保管場所	住所								
		二種側帯	土・砂	耐水性大型土のう	耐水性大型土のう	大型土のう袋	土のう	土のう袋	むしろ	ビニールシート	鉄線	丸太			鉄杭	スコップ	カケヤ	カケヤ	棒	運搬トラック（H）	運搬トラック（H）	楕石（H）
1	旭川市東区								400	2	1	30	5	2							岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
2	旭川市東区								10,000	20	10	2	50	70	80	10					岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
4	旭川市東区								2,000												岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
5	旭川市東区								300	2	1			20	2						岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
6	旭川市東区								1,600												岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
7	旭川市東区								500	2	1	20	5	2							岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
8	旭川市東区								400	2	1	10	10	2							岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
9	旭川市東区								600												岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
10	旭川市東区								600	2	1		5	2	40						岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
11	旭川市東区								200	2	1	0	10	2							岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
12	旭川市東区								200	2	1	20	5	2							岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
13	旭川市東区								4,200												岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
14	旭川市東区								400	2	1	30	5	2							岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
15	旭川市東区								200	2	1		10	2							岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区
16	旭川市東区								200	2	1		10	2							岡山県旭川市東区	岡山県旭川市東区

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表（高梁川水系）

番号	保管場所	保管資材																保管場所	住所			
		二種側帯	耐水性大型土のう	耐水性大型土のう	大型土のう袋	土のう	土のう袋	むしろ	ビニールシート	鉄線	丸太	鉄杭	スコップ	カケヤ	カケヤ	棒	運搬トラック（H）			運搬トラック（H）	楕石（H）	
1	高梁市東区								4,900	100	40	39	84	58	14						高梁市東区	高梁市東区
2	高梁市東区								1,300	5,815	20	5	110	85	105	12					高梁市東区	高梁市東区
3	高梁市東区								7,400	3,300	4	4	15	38	7						高梁市東区	高梁市東区
4	高梁市東区								2,600	10,000	2	4			73	9					高梁市東区	高梁市東区
5	高梁市東区								2,080	1,311	8	13	1,000	50	125	90	32				高梁市東区	高梁市東区
6	高梁市東区								6,300	1,000		10		43	17						高梁市東区	高梁市東区
7	高梁市東区								10,400	9,800		4	85	63	80	25					高梁市東区	高梁市東区
8	高梁市東区								2,760	320		210	320		3	7					高梁市東区	高梁市東区
9	高梁市東区								8,800			50	650	35	10						高梁市東区	高梁市東区
10	高梁市東区								600			8		72	10						高梁市東区	高梁市東区
11	高梁市東区								300	750		2	100	10	3						高梁市東区	高梁市東区
12	高梁市東区								1,800	10,000		10	100	21	7						高梁市東区	高梁市東区
13	高梁市東区								10,000	44	35	11	20	1	68	22					高梁市東区	高梁市東区
14	高梁市東区								4,000						1	3					高梁市東区	高梁市東区
15	高梁市東区								600	3100		2	5	30	5	7					高梁市東区	高梁市東区
16	高梁市東区								30	100,000		0-2 (30%)	32	200	15	75	4				高梁市東区	高梁市東区
17	高梁市東区								10,000	48		80	850	60	14	8					高梁市東区	高梁市東区
18	高梁市東区								700			68	2100	16	4						高梁市東区	高梁市東区
19	高梁市東区								800			0-2 (30%)				5	1				高梁市東区	高梁市東区
20	高梁市東区								1,300			0-2 (30%)	1,300		7	4					高梁市東区	高梁市東区
21	高梁市東区								300	20					4	1					高梁市東区	高梁市東区
22	高梁市東区								500	4244		10		78	12						高梁市東区	高梁市東区
23	高梁市東区								1,000				742	11	2						高梁市東区	高梁市東区
24	高梁市東区								300												高梁市東区	高梁市東区
25	高梁市東区								2,800												高梁市東区	高梁市東区

■住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及促進

- 「逃げキッド」をテーマに岡山市内の公民館職員向けに岡山河川事務所職員が講師として参加し、河川防災についての知識を深め災害時に備えることを目的として、洪水等の災害時に身を守るための行動を「マイ・タイムライン」の作成を通して学習
- 国が発信する河川の情報として「川の防災情報」をウェブサイトで説明、防災学習教材として、「防災教育ポータル」や「防災カードゲーム」を紹介するなど河川情報や防災教育ツールの見方を学習

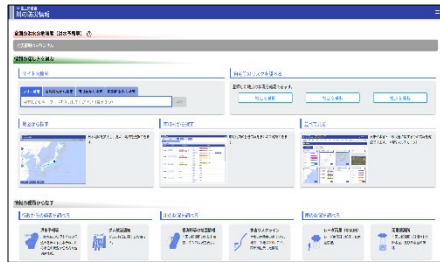
■開催日時:令和4年10月27日(木) 14:00~15:00

■開催場所:岡山市立岡輝公民館

■主 催:岡山市立上南公民館他

■参加者:40名程度

■講 師:岡山河川事務所防災情報課



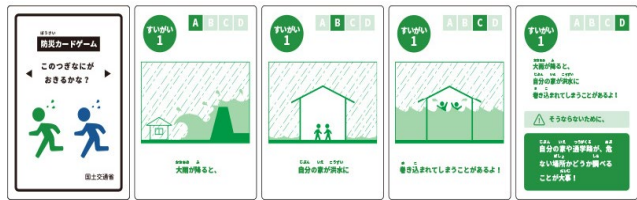
「川の防災情報」ウェブサイト

マイ・タイムライン検討ツール
「逃げキッド」

▲「逃げキッド」の作成方法を説明



▲「川の防災情報」の見方を説明



防災カードゲーム「このつきながおこるかな？」

小学生を対象とした防災教育の実施


- 金剛川の河川敷で行われた「第21回 金剛川水辺の楽校～こどもの夏～」に、岡山河川事務所の職員が参加し、広報活動を実施。
- 様々なイベントが開催される中、川の環境や生物に関心を持ってもらうため、参加者と一緒に水生生物を調査し、簡易水質調査も実施。
- また、河川や防災に係る意識啓発を目的として、河川改修状況、浸水想定区域図、河川の防災情報に関するパネル展示や参加者への説明を実施。



▲ パネル展示状況

浸水想定区域図・ハザードマップとは

- **浸水想定区域図**
想定100年最大規模の洪水により浸水し、最悪の浸水状況を想定したシミュレーションにより予測し、定量化したものです。
- **洪水ハザードマップ**
浸水想定区域に、洪水の浸襲の浸襲方法、浸襲範囲その他洪水の発生や浸襲の浸襲を定量的に示したものです。



大規模の河川氾濫の危険性を知り知る

岡山河川事務所の防災情報

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、洪水や津波発生時に、自分がいる場所で、何をしたらいいのかを事前に決めておくことで、発生時に、冷静な判断が下せるようにするためのツールです。




▲ 水辺の楽校の様子

▲ 展示したパネルの例

防災教育や防災知識の普及

■ 河川に関するイベントや防災訓練等の実施

- 旭川の河川敷で行われた「備前岡山京橋朝市」において、河川の安全や防災に係る意識啓発を目的とした企画展に岡山河川事務所が参加し、パネル展示等を実施。
- 朝市が開催された朝5時～10時の間、パネル展示を実施した他、岡山河川事務所の事業概要や逃げキッドなどを配布。



▲ 朝市の様子



▲ パネル展示状況

流域治水プロジェクト

流域治水プロジェクトとは

流域治水とは、河川に由来する洪水の被害を軽減するための取り組みです。これまでに河川整備事業の推進だけでなく、流域に由来する洪水の被害を軽減するための取り組みとして、国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所が主催する「流域治水プロジェクト」を開催しています。このプロジェクトでは、流域治水の推進を図るための取り組みとして、国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所が主催する「流域治水プロジェクト」を開催しています。このプロジェクトでは、流域治水の推進を図るための取り組みとして、国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所が主催する「流域治水プロジェクト」を開催しています。



みんなで取り組む流域治水

国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所

具体的な取り組み事例



旭川水系の過去の洪水



河川名称	洪水発生年月	洪水発生地点	洪水発生原因	被害状況
旭川	昭和10年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和11年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和12年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和13年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和14年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和15年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和16年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和17年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和18年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和19年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和20年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和21年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和22年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和23年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和24年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和25年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和26年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和27年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和28年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和29年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和30年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和31年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和32年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和33年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和34年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和35年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和36年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和37年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和38年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和39年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和40年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和41年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和42年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和43年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和44年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和45年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和46年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和47年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和48年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和49年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和50年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和51年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和52年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和53年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和54年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和55年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和56年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和57年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和58年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和59年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和60年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和61年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和62年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和63年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和64年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和65年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和66年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和67年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和68年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和69年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和70年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和71年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和72年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和73年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和74年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和75年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和76年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和77年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和78年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和79年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和80年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和81年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和82年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和83年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和84年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和85年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和86年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和87年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和88年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和89年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和90年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和91年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和92年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和93年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和94年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和95年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和96年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和97年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和98年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和99年	旭川	台風	旭川
旭川	昭和100年	旭川	台風	旭川

▲ 展示したパネルの例

より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

地域住民の生命と財産を守るため「災害時の応急対策に関する協定」を締結し、災害時の迅速な活動体制を確保する。

令和4年度 災害応急対策活動等(測量・設計)

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川	アセス株式会社 株式会社荒谷建設コンサルタント 株式会社アークコンサルタント いであ株式会社
旭川	株式会社ウエスコ 株式会社エイト日本技術開発
高梁川 (小田川)	株式会社佐和測量コンサルタント 株式会社山陽設計 株式会社シディック 新光技術開発株式会社 西部技術コンサルタント株式会社 中電技術コンサルタント株式会社 株式会社なんば技研 日本インフラマネジメント株式会社 復建調査設計株式会社

令和4年度 災害応急対策活動等(写真撮影)

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川 旭川 高梁川 (小田川)	株式会社秋山測量設計 株式会社ウエスコ 株式会社エイトテック 株式会社エイト日本技術開発 国際航業株式会社 株式会社シディック 西部技術コンサルタント株式会社 株式会社なんば技研 株式会社パスコ

令和4年度 河川等災害応急対策活動等基本協定

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川	栄光テクノ株式会社 大森建設工業株式会社 株式会社村上興業 株式会社元浜組 株式会社吉田組
旭川	アイサワ工業株式会社 株式会社荒木組 株式会社大本組 株式会社奥野組 株式会社笹山工業 有限会社佐山建設 株式会社三幸工務店 株式会社竹内組 蜂谷工業株式会社
高梁川 (小田川)	株式会社一力興業 株式会社大森工務店 株式会社小田組 株式会社カザケン 株式会社片山工務店 株式会社シンケン 中央建設株式会社 株式会社ナイカイアーキット 中村建設株式会社 株式会社ニシテクノ 株式会社藤原組 株式会社堀工務店 三宅建設株式会社

令和4年度 災害応急対策活動等
(排水ポンプ車・照明車の運送及び運転操作業務)

災害対策用機械	協定締結業者名(五十音順)
排水ポンプ車	株式会社荒木組 栄光テクノ株式会社 株式会社奥野組
照明車	株式会社小田組 株式会社笹山工業
待機支援車	株式会社三幸工務店 株式会社シンケン 蜂谷工業株式会社 三宅建設株式会社 株式会社村上興業

より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

令和3年度の災害応急対策活動については、令和3年8月14日出水によりドローンによる撮影を3件、排水ポンプ車の運転対応を1件行った。なお、令和4年度は災害応急対策の活動なし。

実施状況(令和3年8月14日～15日)

実施状況(令和3年8月15日)



百間川分派状況撮影(8月14日撮影)



排水ポンプ車運転状況(赤磐市)



高梁川合流点状況撮影(8月14日撮影)



吉井川合流点状況撮影(8月15日撮影)

排水計画(案)の作成および排水訓練の実施

■ 排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施

「災害時の応急対策に関する協定」の締結協力事業者を対象に災害対策機械の操作訓練を実施し、操作の習熟度向上を図る。令和4年度は、高梁川、旭川、百間川、吉井川の4会場で操作訓練を行い、高梁川会場では倉敷市と合同で操作訓練を行った。(延べ参加者約180名)

災害対策機械訓練状況(高梁川水系訓練5月25日、旭川水系、吉井川水系訓練6月13日(百間川6月9日))



高梁川排水ポンプ車訓練(令和4年)



旭川排水ポンプ車訓練(令和4年)



吉井川排水ポンプ車訓練(令和4年)



倉敷市と合同で操作訓練(令和4年)



旭川照明車訓練(令和4年)



吉井川照明車訓練(令和4年)

吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン検討会を開催

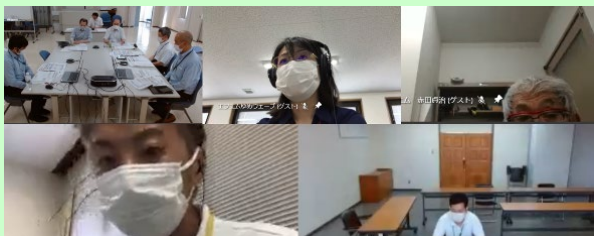
- 「第12回吉井川水害タイムライン検討会」「第20回旭川水害タイムライン検討会」「第12回高梁川水害タイムライン検討会」をWEB会議で開催（令和4年6月17日（金）14:00～15:30）
- 令和4年度の出水対応に向けてタイムラインの概要と運用について確認
- 今年度から出水時の防災行動等の見通しや共有すべき防災行動の情報共有等を行うことを目的として試行する「オンライン情報共有」の概要やルールを確認し、試行実施に向けて調整を進めることを確認

＜令和4年度タイムライン運用に向けた主な確認内容＞

- ① タイムラインの目的、運用方法の確認
- ② 令和3年度出水対応の課題を踏まえた令和4年度取り組みの確認
- ③ タイムライン運用上の留意点と対応の確認
 - ・タイムラインの立上げ・レベル移行の条件と連絡方法
 - ・タイムラインレベル毎の防災対応の実施例
 - ・出水後の課題整理と改善への活用

＜令和4年度新規取り組み＞

取り組み事項	取り組み内容
①意思決定、危機感共有	オンライン会議試行
②防災計画とタイムラインの整合	自治体版タイムラインの作成支援 「総括表」形式のタイムライン作成
③防災情報・防災行動の共有	Lアラート情報による防災情報共有の入力簡素化



会議開催状況



西山座長（吉井川・高梁川）
前野アドバイザー

気候危機と呼ばれている状況に対応するため、上下流の自治体が連携して減災・防災対応に取り組んで頂きたい。
（西山座長）

防災気象情報を適切に活用し、防災行動を漏れ無く実施するためにタイムラインを用いて防災行動の確認して頂きたい。
（前野アドバイザー）

【参加機関】

岡山市、赤磐市、真庭市、新庄村、鏡野町、久米南町、美咲町、倉敷市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、矢掛町、笠岡市、津山市、備前市、瀬戸内市、和気町、勝央町、玉野市、里庄町、奈義町、西粟倉村、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力(株)岡山支社、山陽SC開発(株)、中国電力ネットワーク(株)、西日本電信電話(株)岡山支店、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、津山ガス(株)、岡山ネットワーク(株)、岡山電気軌道、岡山シティエフエム、エフエムゆめウェーブ(株)、広島県、岡山県、中国四国農政局・高梁川用土地改良区、苫田ダム管理所、岡山河川事務所

- 令和4年度岡山三川水害タイムライン読合せ訓練を開催（令和4年9月2日（金）13:30～15:30）
- 読合せ訓練では、防災行動共有システムの改良状況を共有するとともに、本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、台風期への備えとして、タイムラインの運用方法や防災行動項目、情報共有方法を確認
- 防災行動項目の確認（読合せ）では、タイムラインレベル毎に想定される状況や主な対応を確認しながら、タイムライン詳細版を用いて参加機関が防災行動項目を確認

<令和4年度台風期に向けた訓練内容>

- (1) 防災行動共有システムの改良状況について
 - ① Lアラート情報等の表示による入力の簡素化
 - ② 防災行動共有システム（図形式）について
- (2) 読合せ訓練
 - ① 運用方法の確認
 - ② 防災行動項目の確認（読合せ）
 - ③ 情報共有（テロップ）
- (3) 質疑応答、訓練意見とりまとめ

読合せ訓練 防災行動項目の確認（読合せ）



行動項目 (第2階層)	カテゴリー	No.	行動手続・内容 (第2階層)	実施状況																											
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
緊急・中規模級の台風（継続）	A08	1	① 緊急・中規模級の台風発生時、各機関、各担当が迅速に連携し、関係機関との連携を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
緊急警報・注意報等の発表（継続）	A08	2	② 緊急警報・注意報等の発表を受け、関係機関との連携を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
岡山県・岡山地方気象台、岡山河川事務所による中規模級の台風発生	A08	3	③ タイムライン上の状況（レベル4以降の状況）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
岡山県・岡山地方気象台、岡山河川事務所による中規模級の台風発生	A08	4	④ 緊急警報・注意報等の発表を受け、関係機関との連携を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関の通知	A08	5	⑤ タイムライン上の状況（レベル4以降の状況）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
災害対策本部等の設置準備	A08	6	⑥ 災害対策本部等の設置準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関の連携	A08	7	⑦ 関係機関との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関の連携	A08	8	⑧ 関係機関との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	9	⑨ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	10	⑩ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	11	⑪ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	12	⑫ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	13	⑬ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	14	⑭ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	15	⑮ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	16	⑯ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	17	⑰ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	18	⑱ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	19	⑲ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	20	⑳ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	21	㉑ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	22	㉒ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	23	㉓ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	24	㉔ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	25	㉕ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	26	㉖ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	27	㉗ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	28	㉘ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	29	㉙ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
関係機関への連絡	A08	30	㉚ 関係機関への連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

① タイムラインレベル毎の状況とタイムライン上の主な対応を確認

② タイムラインレベルの状況と対応をイメージしながら、各機関で防災行動項目を確認



会議開催状況
西山座長 前野アドバイザー
(吉井川・高梁川)

全ての関係機関がタイムラインを活用することが重要である。情報共有を確実にし、入手した情報を自機関の防災行動に活用頂きたい。
(西山座長)

大型の台風11号が来週に最接近と予測されている。関係機関の皆様には、しっかりと対応頂きたい。
(前野アドバイザー)

【参加機関】

岡山市、赤磐市、真庭市、新庄村、鏡野町、久米南町、美咲町、倉敷市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、矢掛町、笠岡市、津山市、備前市、瀬戸内市、和気町、勝央町、玉野市、里庄町、奈義町、西粟倉村、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力(株)岡山支社、山陽SC開発(株)、中国電力ネットワーク(株)、西日本電信電話(株)岡山支店、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、津山ガス(株)、岡山ネットワーク(株)、岡山電気軌道、岡山シティエフエム、エフエムゆめウェブ(株)、広島県、岡山県、中国四国農政局・高梁川用土地改良区、苦田ダム管理所、岡山河川事務所

- 令和4年度岡山三川水害タイムライン振返り検討会を開催（令和5年1月12日（木）13:30～15:30）
- 振返り検討会では、令和4年度の出水概要を振り返るとともに、事前に実施した振返りアンケート結果によって明らかになった、タイムラインに関する課題や改善方針を確認
- 振返り（意見交換）では、改善方針に関連したテーマについて意見交換を実施

＜タイムラインに関する振返り内容＞

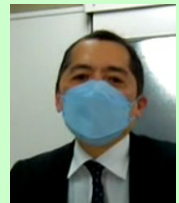
- ①令和4年度の出水概要の共有
 - ・タイムラインの運用状況、令和4年度の出水状況、読合せ訓練の実施概要を確認
- ②振返りアンケート結果の報告
 - ・振返りアンケート結果によって明らかになった、タイムラインに関する課題や改善方針を確認
- ③振返り（意見交換）の実施
 - ・改善方針に関連したテーマについてリアルタイムアンケートを用いて意見交換を実施

＜テーマ毎の振返り（意見交換）内容＞

テーマ	振返り（意見交換）内容
① 効果的な引き継ぎに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・約9割の機関が「タイムラインの引継ぎの経験が無い」と回答 ・引き継ぎツール（解説動画、チェックリストなど）の重要性を確認
② 各機関で防災計画等の妥当性を検証する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・約8割の機関が「出水対応が無かった場合は防災計画等を検証していない」と回答 ・机上訓練による検証、他地域の災害を参考とした検証など、出水対応が無かった場合の検証方法を意見交換
③ タイムライン発動基準の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムライン発動基準を、早期注意情報（警報級の可能性）かつ府県気象情報の発表とし、確度が高い状況に絞ってタイムラインを発動することを事務局から提案 ・約9割の機関が「改善案に賛同する」と回答
④ 情報や進捗状況の共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・約9割の機関が「公開情報の共有は自動集約により効率化する方向性に賛同」と回答 ・気象等の見込み情報や専門家の意見は、発信者の作業の輻輳や情報の重複に留意しつつ共有することが重要かつ課題
⑤ オンライン情報共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から実施されたオンライン情報共有は大変良い取組であったので、今後も取組を継続 ・オンライン情報共有は、岡山県や気象台が開催するオンライン会議・説明会と時期や内容が重複する部分があるため、同時開催や省略等の検討が必要



会議開催状況



西山座長
（吉井川・高梁川）



前野アドバイザー

上流から下流への情報共有を確実に行うためにはシステムの活用が重要である。引継ぎツールの作成など、システムの活用を支援する必要があると感じている。（西山座長）

各機関が引継ぎが十分に出来ていない中で、解説動画や学習サイト、引継ぎチェックリストの作成は有効と感じる。また、システムの有効活用に向けた操作演習も行ってはどうか。（前野アドバイザー）

【参加機関】

岡山市、真庭市、鏡野町、美咲町、倉敷市、井原市、高梁市、新見市、浅口市、矢掛町、津山市、玉野市、岡山地方気象台、中国電力(株)、西日本電信電話(株)、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、津山ガス(株)、山陽SC開発、岡山県バス協会、エフエムゆめウェブ(株)、中国四国農政局・高梁川用土地改良区（小阪部川ダム）、苫田ダム管理所、岡山県、岡山河川事務所、広島県

- 令和4年度吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン改善検討会を開催（令和5年3月13日（月）13:30～14:30）
- 改善検討会では、振返り検討会で実施した振返り（意見交換）の内容を踏まえた、タイムラインの改善を承認し、防災行動の取組推進を図ることとしました。

＜水害タイムラインの改善取組＞

テーマ	改善取組
①効果的な引き継ぎに向けて	以下のタイムライン引継ぎツールを作成し、関係機関へ令和4年度内に周知し、活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムライン解説動画:「①導入編」「②活用編」「③訓練編」の3つのテーマ・活用場面に分けて作成 ・ 学習サイト(タイムライン特設サイト):タイムラインの概要や、上記の解説動画と、過去の検討会で挙げられた質問等をFAQ方式でとりまとめたサイトを構築 ・ 引継ぎチェックリスト:異動時に引継ぎが必要な項目と、参照資料を整理
②各機関で防災計画等の妥当性を検証する方法	各機関で防災行動を検証しやすいタイムラインの活用・作成促進や読合せ訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムライン総括表:各機関で防災計画等の検証をしやすくすることを目的に作成促進 ・ 自治体タイムライン・各機関タイムライン:各機関で防災計画等の検証をしやすい資料として、今後も作成を促進 ・ 読合せ訓練:令和5年度も引き続き実施
③タイムライン発動基準の改善案	タイムライン発動基準を以下の通り見直し、気象状況に即したタイムラインの発動基準へ変更。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期注意情報(警報級の可能性)かつ府県気象情報の発表
④情報や進捗状況の共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポータルサイト全般:交通機関などの民間公開情報を自動集約する方針で引き続き改良を実施 ・ 見込み情報・専門家の意見:オンライン情報共有等を試行しながら引き続き改善 ・ 防災行動共有システム(表形式):自動取得できない情報の共有に向けて、操作性の向上を図りつつ、「共有すべき情報」を精査・検討 ・ 防災行動共有システム(図形式):自動取得できる情報の取得拡大と、情報の時系列表示を検討
⑤オンライン情報共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象台が開催する台風・大雨説明会等との同時開催。 ・ 具体的な案内方法、タイムラインの説明内容は出水期までに調整。



会議開催状況

タイムラインは、各機関からの意見を反映し、作り上げているところである。タイムラインをより良いものとするため、屈託のない意見をいただきたい。
(西山座長)



西山座長
(吉井川・高梁川)

タイムライン解説動画、チェックリスト等を活用し、担当者の引継ぎや、タイムラインに関する再確認を着実に実施していただきたい。
(前野アドバイザー)



前野アドバイザー

【参加機関】

岡山市、赤磐市、真庭市、鏡野町、久米南町、倉敷市、井原市、高梁市、浅口市、矢掛町、笠岡市、備前市、瀬戸内市、勝央町、玉野市、里庄町、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力(株)、西日本電信電話(株)、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、山陽SC開発、JR西日本、笠岡放送(株)、岡山県、中国四国農政局、岡山河川事務所、広島県

岡山県の取組状況

河川の流水を阻害する堆積土や繁茂樹木の除去

河道内整備実施計画に基づく河道掘削・樹木伐採

【現状・課題】

- 平成30年7月豪雨以降、越水が発生した箇所等を中心に、河道掘削、樹木伐採に集中的に取り組んできたが、対策の必要な箇所は依然として数多くあるため、「河道内整備実施計画」に基づき、優先度の高い箇所から効果的、効率的に実施しているところ

【河道内整備実施計画】

目的：河道内整備（河道掘削、樹木伐採）が必要な箇所を明確化し、効果的・効率的に河川の流下能力の維持・向上を図る

計画年度：令和2年度～令和6年度

計画目標：優先度ランクA箇所の解消、優先度ランクB箇所の延長を約3割削減

【優先度】

ランク	判定の概要	延長
A	優先度が特に高く緊急に対策が必要な箇所	約 17km
B	優先度が高く対策が必要な箇所	約 305km
C	当面は経過観察する箇所	約 438km

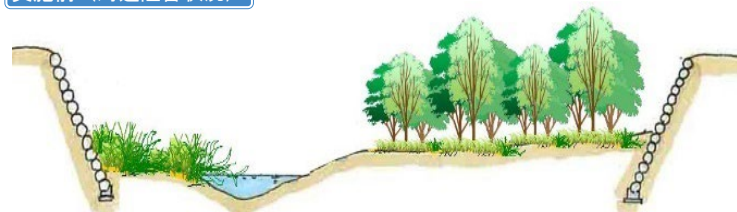
堆積・繁茂区間の約760kmについて、箇所ごとに「影響度」と「重要度」から「優先度（ランクA・B・C）」を評価し、優先度の高い箇所から対策を実施する

【河道掘削・樹木伐採の実績】

- 令和3年度までに、ランクA・ランクBのうち約53kmの対策を実施

河道内整備のイメージ

実施前（河道阻害状況）



実施後（掘削・伐採）



河道内整備の実施例

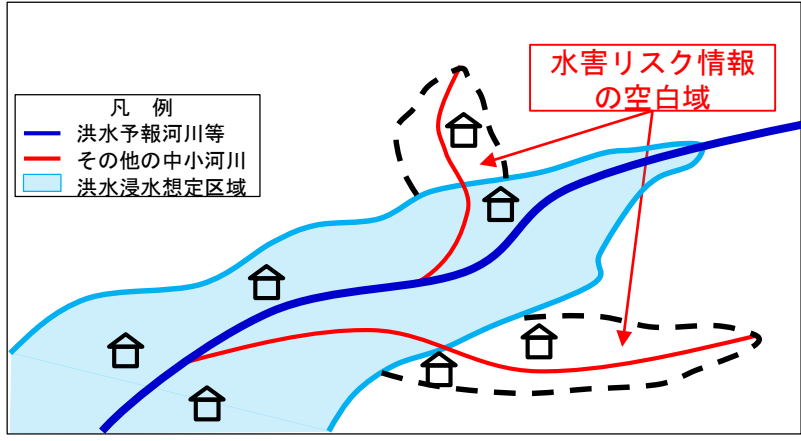


■ 洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)

洪水予報河川等については令和3年度までに洪水浸水想定区域図を公表しているが、その他の中小河川についても浸水被害が全国で多数発生していることから、洪水浸水想定区域図を作成し、洪水による水害リスク情報の空白域を解消する。

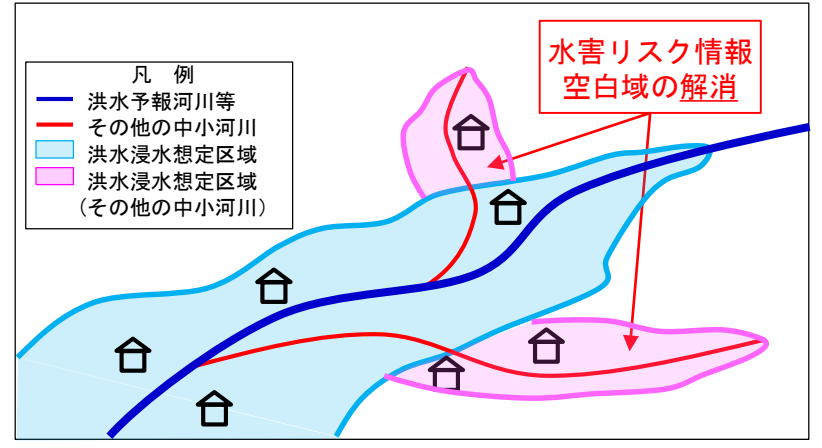
◆ 現状・課題

中小河川では、一部を除き、洪水浸水想定区域図を公表しておらず、水害リスク情報の空白域が存在する。



◆ 取組内容

中小河川の氾濫により浸水が想定される範囲について、洪水浸水想定区域図を作成。



◆ 効果

洪水浸水想定区域図を、水害リスク情報として公表することにより、住民等の水害を「我がこと」として捉える意識の醸成が進み、洪水時における円滑かつ迅速な避難行動が促進される。

◆ R4実施内容

高梁川水系の中小河川において、**想定最大規模(L2)**及び**計画規模(L1)**の洪水浸水想定区域図を作成。

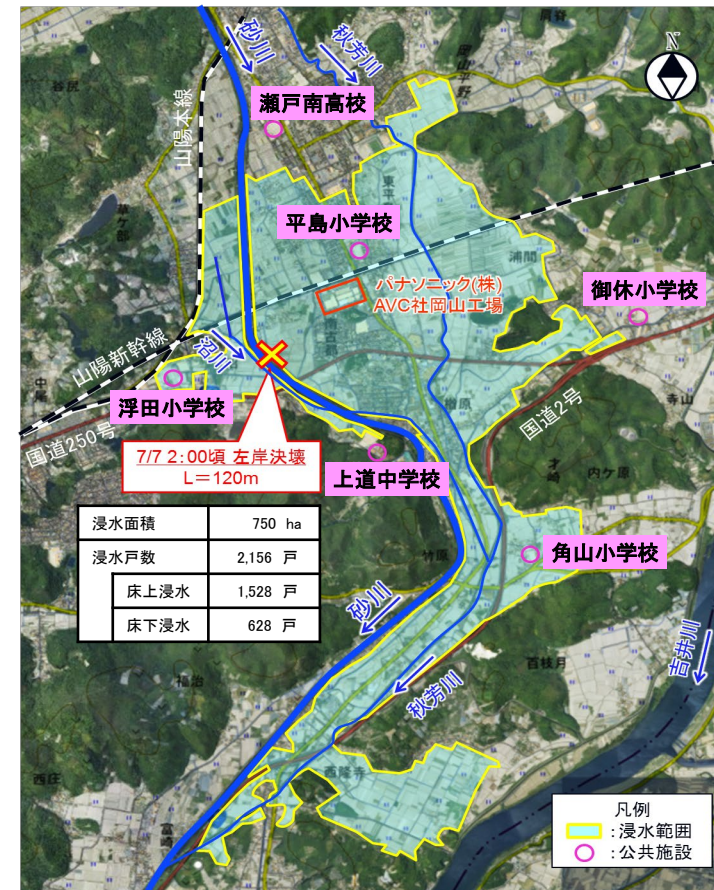
■ 災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う

災害復旧教室の開催(砂川)

平成30年7月豪雨で堤防が決壊し、多くの家屋が浸水被害を受けた砂川において、将来を担う地元小学校の5年生を対象に災害復旧教室を開催した。

《内容》

- ・ 災害の事例、堤防決壊のメカニズム
- ・ 平成30年7月豪雨災害の復旧工事の状況



災害復旧教室



平成30年7月豪雨による砂川の浸水状況

■防災の日・防災週間にあわせた防災の普及啓発

【目的】
 いつ起こるかわからない地震や風水害に対して、県民自らが災害に備えることの重要性を呼びかけ、県民の防災意識の高揚を図る。

【内容】

- ・毎年、防災の日(9月1日)及び防災週間(8月30日～9月5日)にあわせて、ホームセンター等に防災コーナーの設置協力を依頼
- ・令和4年度は、新たに岡山県立図書館、岡山高島屋と連携して防災コーナーを設置
- ・県が作成している防災ガイド「もたらろうの防災」や、「コロナ禍における避難行動啓発」チラシの配布、啓発パネルの展示等を実施

【効果】

- ・防災ガイド・チラシの配布による県民の防災意識向上
- ・防災グッズ等を活用した備えの促進



岡山県立図書館



岡山高島屋

■おかやま防災ポータル

【目的】
 岡山県危機管理課が運営するおかやま防災ポータルの周知により、県民一人ひとりが自ら防災情報入手し、災害時には適切な避難行動をとる「自助」の取組の促進を図る。

【内容】

- ・おかやま防災ポータルは、岡山県危機管理課が運営する防災情報ポータルサイト
- ・災害による被害の防止や軽減などのために必要な防災情報・気象情報などを提供
- ・県が主催する防災セミナーや自主防災リーダー研修会・自主防災組織リーダー研修会、出前講座等で、チラシの配布及び説明を実施

【効果】

- ・参加者のおかやま防災ポータルの活用
- ・参加者による各地域でのおかやま防災ポータルの普及



防災ポータル
 チラシ

自主防災リーダー
 研修会



令和4年11月19日、今在家河川防災ステーション(岡山市中区)にて、「岡山県水防技術講習会」を開催し、消防団員等15名により、水防工法の演習等を行いました。

また、本講習会へは、自主防災組織の方々も参加し、水防活動への理解を深めました。



講義



改良積み土のう工法



土のう作成



ロープワーク



吸水土のう紹介



自主防災組織による見学

市町村等の取組状況

■防災ラジオ販売事業・つやま災害情報メール・津山市版マイタイムラインの普及促進

緊急告知防災ラジオ

旧津山地域では、災害時に緊急放送を自動起動で配信する緊急告知防災ラジオの販売を行っています。

対象 旧津山地域の世帯
(1世帯1台)

金額 3,250円(消費税込)

購入方法

津山市役所、危機管理室に備え付けの購入申込書に記入・提出して購入する。

※事前に設置予定場所で、エフエムつやま(78.0MHz)が受信できることを確認しておく必要があります。



つやま災害情報メール

災害情報や火災情報などを配信しています。次の登録用アドレス、またはQRコードから空メールを送信します。返信されたメールから登録サイトにアクセスして登録してください。

登録用アドレス

t-tsuyama@sg-m.jp

QRコード



防災講話等において普及啓発を行っている。

津山市 家の避難計画 (風水害編) 【マイ・タイムライン】 作成年月日 令和 年 月 日

事前に確認しておく

平時時に備えておく

災害情報等取得する手段 (屋内や屋外で利用できるよう、複数の情報取得手段を準備しておくことが重要です)

避難を開始するタイミング

避難に必要なもの(非常持ち出し品) (避難先での滞在を想定するため、事前にチェックリストと併せて必要なものを)

想定	気象情報・警戒レベル等	我が家が取らねば行動と備え	行動と備え (参考例)
3日以前 (台風発生の可能性)	【台風発見】 【台風の進路予想が天気予報などで伝えられる】 ◇台風に関する岡山県気象情報(警戒レベル1)	・ ・ ・	○テレビなどの天気予報に注意 ○今後の台風発見に備える ○家族全員今後の予定の確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○1週間分の薬を病院に取りに行く ○避難する時に持って行く物を確認・準備する ○家の増りに風等で飛ばされるようなものはないか確認
24時間前 (最大災害の前)	◇大雨注意報、洪水注意報(警戒レベル2) 【台風が近づいて雨が風が徐々に強くなる】 ○大雨・洪水警報の発表 △津山市災害警報本部設置	・ ・	○テレビ・インターネット・メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員今後の予定を確認 ○つやま災害情報メールや緊急告知防災ラジオなどで情報を得る
12時間前 (災害発生のおそれ)	水防団待機水位に到達 警戒注意水位に到達	・ ・	○住んでいる場所と河の上流や山間地の雨量を調べる ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○川の水位や雨量を調べる ○携帯電話の充電 ○避難しやすい服装に着替える ○避難に時間のかかる高齢者等は避難を開始 ○避難を開始 ○避難に誘う
5時間前 (災害発生のおそれ) 高まり	避難判断水位に到達 ◇避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)	・ ・ ・	○避難する人は避難開始。(高齢者等は避難完了) ★避難する全ての人が避難を完了
3時間前	警戒危険水位に到達 ◇避難指示(緊急)(警戒レベル4) 【河川(レベル4)】	・ ・	○外へ避難できない場合は、屋内の安全な場所に避難する
0時間 (災害発生)	河川が氾濫する【災害発生】 ◇緊急非常警戒(警戒レベル5)	・ ・	・避難が完了していない人は命を守る最善の行動を!

※決定はあくまでも参考です。状況により変化します。気象情報や警戒レベル等が発表されるタイミングも状況により変化します。
※マイ・タイムラインは、あくまでも避難行動の目安です。状況によっては、タイムラインより早めに避難行動を起こすことも大切です。

■ 共助の仕組みの強化(避難行動要支援者の個別避難計画策定に向けた検討グループ)

■ 開催日時

- ・随意開催

■ 実施機関

- ・玉野市・玉野市社会福祉協議会

■ 参加者

- ・危機管理課・長寿介護課・健康増進課・福祉政策課・玉野市社会福祉協議会 計8名

■ 開催場所

- ・玉野市役所

■ 概要

- ・個別避難計画の作成対象者の考え方
- ・避難行動要支援者名簿の概要
- ・個別避難計画の様式
- ・要配慮者の想定
- ・優先度を踏まえた個別避難計画の策定

■ 策定期間

- ・令和3年10月から令和8年3月末頃の予定

■ デジタル同報系防災行政無線の運用開始

■ 運用開始日：令和4年12月～

■ 概要・経緯：

○ 災害発生時における地域住民への迅速かつ的確な情報伝達体制を確立するため、アナログ同報系防災行政無線を整備（日生及び吉永地域）しておりましたが、老朽化に伴う性能劣化などの問題がありました。また、備前地域においては、効果的に伝達する手段がないことから、市内全域にデジタル方式による同報系防災行政無線を整備しました。


※希望者には戸別受信機を無料貸与



■新防災情報伝達システムの運用開始(令和4年4月～)

■概要

新たに構築した防災情報伝達システムの運用を開始。スマートフォン向けの瀬戸内市防災アプリによる情報伝達や、希望される方には戸別受信装置を貸与。

 身近な防災対策で **命** を守る

【広報用チラシ
(高齢者向け)】



災害情報の入手に
自信がありますか。

75歳以上
高齢者のみの世帯※など
通信料免除
0円

瀬戸内市
防災アプリ

戸別受信装置

アプリ利用料 **無料**
通信料は利用者負担となります。

※詳しい免除の要件は裏面をご覧ください

台風や地震など、災害からの避難に備えて

今すぐ どちらかを準備！

アプリの具体的なインストール方法、戸別受信装置の詳細は裏面をご覧ください。

防災アプリのインストール
戸別受信装置の手続き **お手伝い** します

まずは、お電話ください

瀬戸内市危機管理課 | TEL:0869-22-3904 | E-mail:kikikanri@city.setouchi.lg.jp

【防災アプリと戸別受信装置】



瀬戸内市

防災アプリ

緊急情報
市からのお知らせ
安否情報
登録・検索
防災マップ
防災リンク集
天気・気象



■令和4年度 避難所開設・運営訓練

■開催日時: 令和4年10月30日 11:00~12:00

■開催場所: 城南小学校体育館

■実施機関: 赤磐市役所くらし安全課

吉井支所市民生活課

あかいわ防災士連絡会

草生自主防災会

黒本・黒沢地区自主防犯・防災連合会



■概要:

○自治会、自主防災組織、「あかいわ防災士連絡会」と連携を行うことにより、迅速で円滑な避難所開設・運営が行われ、地域住民の防災意識の高揚を目的としました。

○発災時に迅速かつ円滑に対処できるよう、避難所開設・運営訓練を実際に行いました。



■ 令和4年度赤磐市総合防災訓練の実施

【目的】

南海トラフ巨大地震及び豪雨災害による被害を想定し、災害対応能力の向上と連携の強化及び防災意識の高揚を図る。

【概要】

地元住民や自衛隊、警察署、消防団など市内外の43機関、388人車両36台が参加し、関係機関の活動を確認するとともに、連携機関の強化と総合的な防災力の向上を図りました。

展示コーナーを設け、関係機関による防災啓発や活動紹介、特殊車両の展示を行いました。また、炊き出しコーナーでカレーライス約500食の非常食の配膳を行いました。



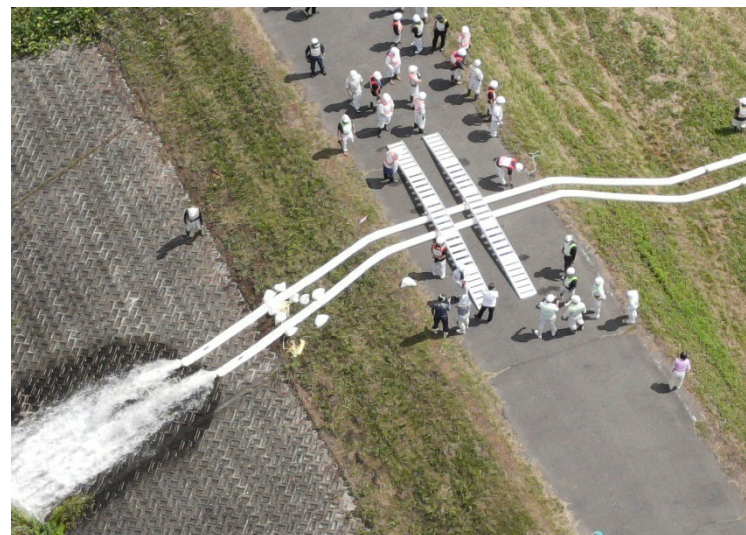
■災害時に備えて排水ポンプ操作訓練の実施

【目的】

浸水被害に備えて配備した可搬式ポンプユニットの操作技術の習得及び、赤磐市建設業協会との連携の強化を図る。

【概要】

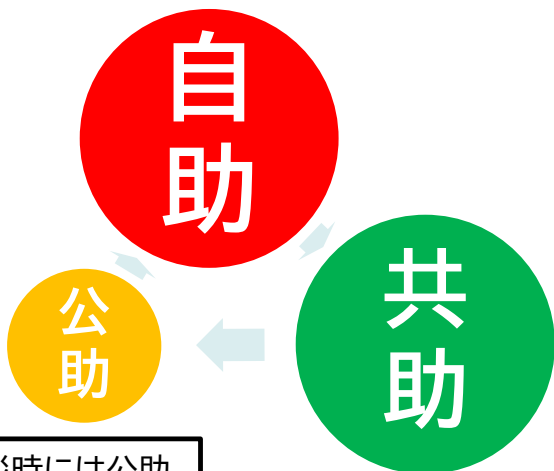
市内の排水機場にて排水ポンプの搬出・設置、排水ホースの延伸、ブリッジの設置、排水作業を行い、一連の操作方法やそれぞれの役割を確認しました



■防災出前講座の実施

・防災出前講座の概要

地域の防災力向上に向けて、特に自助・共助による防災出前講座を実施した。
危険個所の確認や防災マップの見方等の講座を実施。



発災時には公助の力は小さい。

・波及効果

災害リスクを地域や家庭内で共有することにより、事前の備えの促進につなげる。



地域防災力の向上

【各種団体での説明会の様子】



防災出前講座の実績

- ・自主防災組織への出前講座
(5/21 6/12 6/18 7/5 7/17 11/12 12/2 12/18 12/20)
- ・小学校への出前講座 (5/21 5/28 7/8 9/30 12/10)
- ・その他団体への出前講座 (6/17 7/11 7/27 8/20 9/22 9/27)

■可搬式排水ポンプの活用訓練を開催

■吉野川流域を中心に、美作市役所本庁、4支所、消防本部、美作市浄化センターに16台を配備。

■浸水被害の減少や、浸水したときの早期復旧、避難するための時間を少しでも長く確保できることを期待する。

○講習を受けたものを主導とした使用を想定しているため、誰でも動かせるように定期的に講習会を開催。要請があれば、消防本部での操作訓練や、利用場所を想定した現地での訓練も行う。



■防災こども塾の開催（水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催）

- 開催日時：令和4年10月8日 13:00～
- 実施機関：和気町
- 受講者：4世帯10人
- 講師：岡山地方気象台職員



- 概要：
○岡山地方気象台職員に講師として来ていただき、キキクルや気象情報などの説明、ペットボトルを使用した実験など、家族でもわかりやすく楽しめる防災研修会を開催しました。

■防災研修会の開催（水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催）



講習会受講の様子

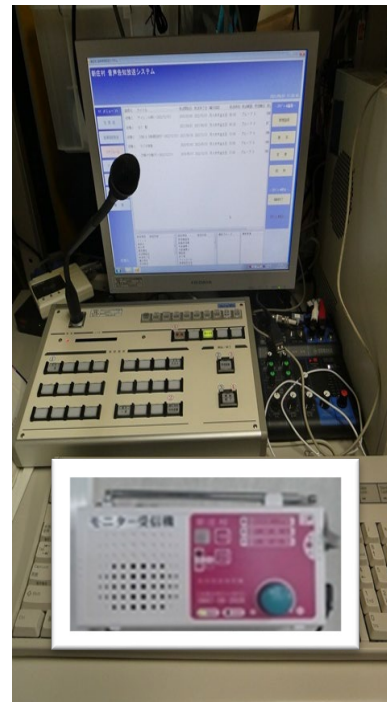
- 開催日時：令和5年1月28日 10:00～
- 実施機関：和気町
- 受講者：町内自主防災組織関係者 約100名
- 講師：岡山県危機管理課職員、岡山地方気象台職員

- 概要
○岡山県と岡山地方気象台職員に講師として来ていただき、町内の自主防災組織関係者を対象に、防災研修会を開催しました。

- 庁舎へポスターを掲示し住民へ周知
- FM告知放送による村内全域(全戸)への情報伝達



↑【住民へ周知を図る】



←【FM告知による情報伝達(注意喚起)】



News
いざ!という時のために、備えましょう

【準備の優先度】
【台風の来襲が近づいたら】
【被害が発生する前に】

マイタイムラインとは、台風の接近期によって、同じ水位が上昇する間に、住戸一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、(いつ)「何をやるのか」をあらかじめ格別詳細に整理した自分の取組行動計画です。

ステップ1 知る
知る
洪水ハザードマップを確認して、地域の危険箇所をチェック

ステップ2 気づく
気づく
洪水時に受けられる情報と、取組行動を確認できる重要性を学ぶ

ステップ3 考える
考える
洪水時の取組行動計画をファミリーマップする

マイタイムラインの検討は、洪水ハザードマップ等を用いて居住地域ごとの危険箇所(水害)スポットや各々の取組行動を想定した取組行動計画に合わせた取組行動計画を家族ごとに考える場を創出することが重要です。

担当：役場総務企画課(NTT56-2626)

↑【CATVで周知】

●取組は継続(令和2年度~)して実施している。

■ 避難行動や、水防活動に関する河川監視カメラの設置及び公開

河川監視カメラ及び防災システムとの連携について

【目的】

河川の水位状況を河川監視カメラ映像でリアルタイムで配信することにより、水防活動体制や避難行動に活用する。

事業費 10,000千円

【画像配信】※公開イメージ

- 鏡野町ホームページ
- 鏡野町ケーブルテレビ
- ネット会社等からの問い合わせにより、情報提供



設置状況



【設置場所: 吉井川水系】

町内7カ所に設置

- ・鏡野地域: 薪森原、香々美、百谷、土居、入
- ・奥津地域: 井坂
- ・上齋原地域: 上齋原

鏡野町役場 危機管理室に集中管理システム設置

■出張防災講座の開催

- 鏡野町内の地域、福祉施設、小学校を対象に、避難行動、ハザードマップ、備蓄品などについて出前講座を行い、防災についての知識や備えについて啓発を行う。



【地区防災マップ作り】



【小学校防災出前講座】

●出張防災講座

町内会、学校、幼稚園、保育園、婦人会、老人会、民生・栄養委員、放課後児童クラブ、地区こども会など様々な団体組織に対して防災に関する啓発活動を行い、防災に関心を持っていただき、災害時における自助及び共助で避難行動が行えることを目的としている。

●実績

令和年度 防災マップづくり(3地区)、小学校出張防災講座(5校)

■『自主防災マップ』の作成

- 令和4年度勝央町総合防災訓練は、各地区内における風水害・洪水の発生などのリスクを共有するため、ハザードマップ等を参考に、自主防災組織(地区)ごとに『まち歩き』を行い、実災害時に活用できる『自主防災マップ』の作成を行いました。
- 地区住民が中心となりマップづくりをすることにより、防災意識の向上とコミュニケーションづくりを促進し、『地区防災計画』策定の第一歩とすることを目的とし、実施しました。
- 住民・消防団約720名が参加(28地区)



様々な年代の住民が集まり、役割分担をして『まち歩き』を実施。(子どもたちも大切な参加者です)



まち歩きで集めた情報を地図の中に整理します。
地区・地域内の防災に対する“強み”と“弱み”について気づいたことを共有します。



- ・勝央町総合防災訓練は、隔年11月第1日曜日に実施しています。
- ・中間年にあたる年は、自主防災組織主体の訓練を実施しています。

■ 災害・避難カードの作成(町内全戸を対象)

■ 取組内容の実施状況

● 開催日時: 令和4年11月6日 09:00~12:00

※ 当日不参加世帯は、別途作成し提出

● 実施単位: 各地区19の自主防災組織単位(町内全地区)

● 参加者: 約1,000名(19地区の合計)

● 実施場所: 各地区コミュニティハウス等(指定避難所)

● 概要: 同一のカードを自宅用、地区用、役場用作成

○ 奈義町自主防災組織連絡協議会の事業として、総会での決議を経て取組を決定

○ 事前に各地区会長に作成方法を伝達、訓練当日は役場職員が現地で作成を補助

奈義町災害避難カード(表)



奈義町災害避難カード(裏)



● 訓練当日は、各地区共通して新型コロナウイルス感染症対策のため、間隔を取ったり、屋外での作成に配慮されていた。

● 避難行動等の選択シールにより、令和元年度より作成しやすくなったとの感想を多くいただいた。

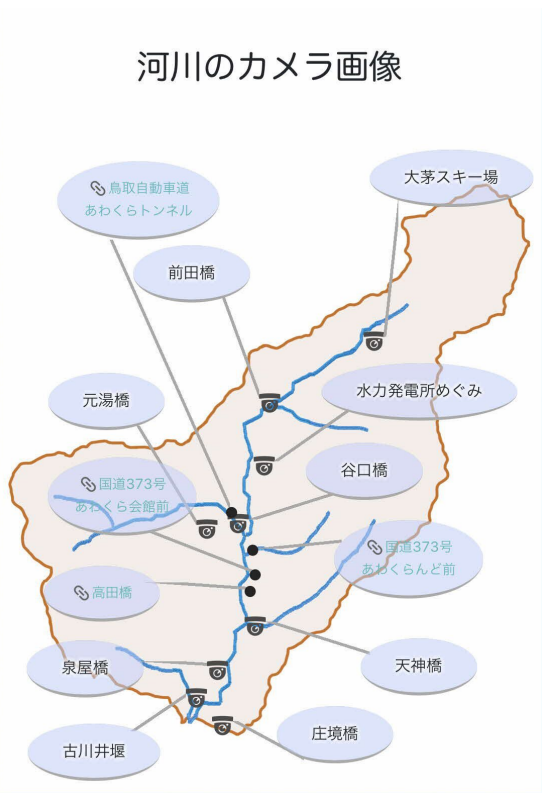
避難行動等の選択シール



■雨量計・河川監視カメラの機能強化/気温計の設置

【概要】

- (令和3年度)近年増加しているピンポイント豪雨に対応するため、谷筋毎に雨量計、水量確認の要所に河川監視カメラを設置
- (令和4年度)河川監視カメラに赤外線照射機能を追加、各雨量計に気温計を設置



西栗倉村防災ポータル

現在の雨量状況

観測時刻 2022年01月17日 11:19分

地区名	60分間の雨量	累加雨量	累加時間	さらに詳しく
大茅地区	0.0 mm	0.0 mm	[00:00]	🔍
楢谷地区	0.0 mm	0.0 mm	[00:00]	🔍
西栗倉村役場	0.0 mm	0.0 mm	[00:00]	🔍
引谷地区	0.0 mm	0.0 mm	[00:00]	🔍
知社地区	0.0 mm	0.0 mm	[00:00]	🔍

雨量の見方
この60分間 雨量計がない状態が継続していない限り雨量が上昇した場合は追加されます。
6時間以内の雨量が降らなければ累加雨量は0mmに返ります。

大茅地区の雨量詳細 (10分表示)

画面更新 もどる

観測時刻 日/時:分	10分間雨量 (mm)	60分間雨量 (mm)	累加雨量 (mm)
17 / 11:20	0.0	0.0	0.0
11:10	0.0	0.0	0.0
11:00	0.0	0.0	0.0
10:50	0.0	0.0	0.0
10:40	0.0	0.0	0.0
10:30	0.0	0.0	0.0
10:20	0.0	0.0	0.0
10:10	0.0	0.0	0.0
10:00	0.0	0.0	0.0
09:50	0.0	0.0	0.0
09:40	0.0	0.0	0.0
09:30	0.0	0.0	0.0
09:20	0.0	0.0	0.0
09:10	0.0	0.0	0.0



■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

■開催日時: 令和4年10月29日 9:30～11:00

■実施機関: 自主防災組織

■参加者: 約40名(自主防災組織、行政、消防団)

■開催場所: 誕生寺(地区で設定した緊急指定避難場所)

■概要

○自主防災組織の主催で、集中豪雨による氾濫を想定した避難所開設訓練や、地区の備蓄品の確認が行われた。

○訓練の後、役場防災担当から災害への備えについて説明を行った。



避難所開設訓練の実施



地区備蓄品の確認



災害への備えについての説明

■内水排水機場の整備

■河川水位の上昇により排水が出来なくなり内水が発生した場合の被害拡大を防止するため、排水機場を整備(新設3箇所)することにより、内水被害のリスク軽減を図る。

・美咲町藤原地区を対象に内水排水機場(3箇所)を整備した。流域面積は約5.56ha (R2~R4実績)

【藤原1号ゲートポンプ】(R4.4完成)

所在地：美咲町藤原361-2

敷地面積：122.64㎡

排水量：0.2㎡/秒×2台=0.4㎡/秒

ポンプ規格：φ300mm

・【藤原2号ゲートポンプ】(R4.3完成)

所在地：美咲町藤原118-2

敷地面積：31.86㎡

排水量：0.2㎡/秒×1台=0.2㎡/秒

ポンプ規格：φ300mm

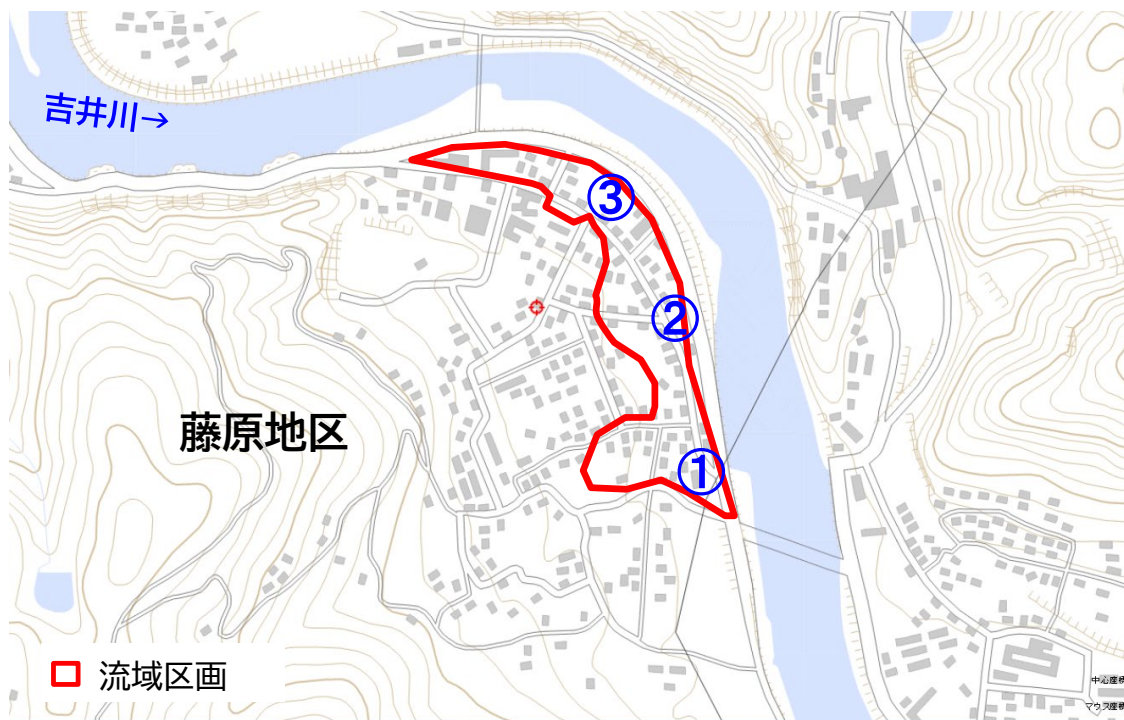
・【藤原1号ゲートポンプ】(R2.11完成)

所在地：美咲町藤原361-2

敷地面積：122.64㎡

排水量：0.2㎡/秒×2台=0.4㎡/秒

ポンプ規格：φ300mm



藤原1号ゲートポンプの取扱、操作の訓練状況
(維持は地元自治会等へ管理委託)

■ 避難行動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備

■ 取組内容の実施状況

【目的】

災害時等に消防団員が行う避難行動支援や水防活動を安全に実施できるように、視認性の高い活動服及び雨合羽を全消防団員に配備している。

【特徴】

- ストレッチ性を確保し動きやすい。 ○ オレンジ色及び反射材を用い視認性が向上。
- 全団員(約500名分)に支給することで迅速な対応が可能。
- デザイン性を考慮し消防団員の士気の高揚を図った。

<活動服>



<雨合羽>

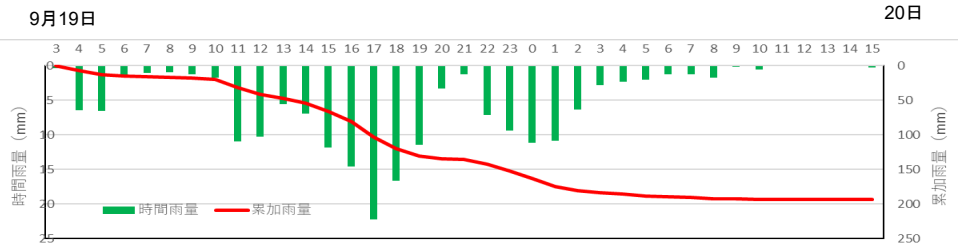


ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)

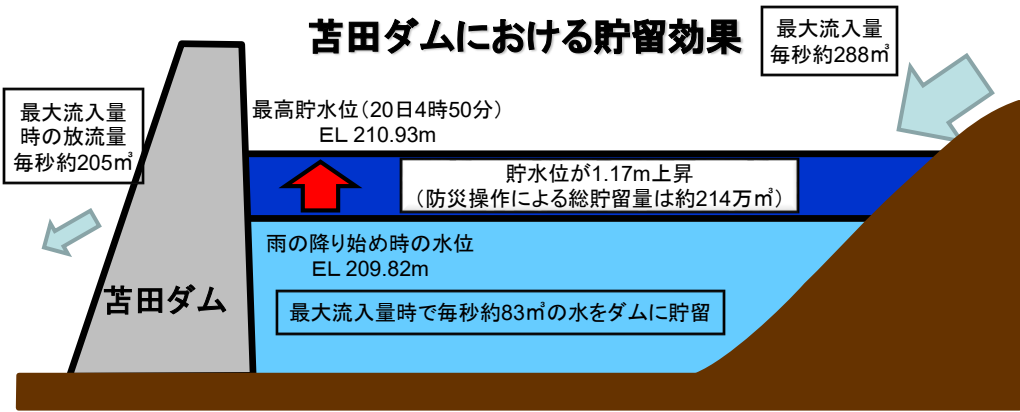
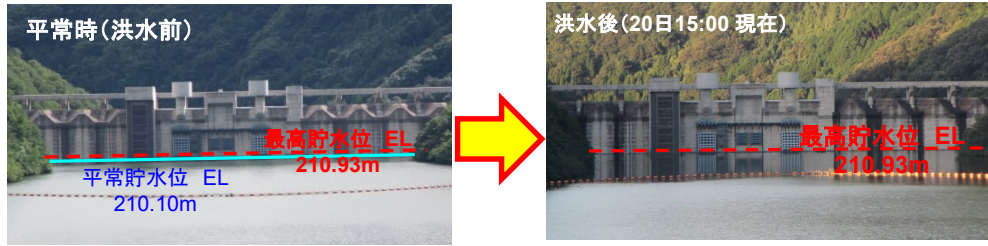
■洪水調節の実施(令和4年9月19日～9月20日)

■取組内容の実施状況

- 令和4年9月19日から9月20日にかけて、台風14号の影響により岡山県全域で降雨となり、苦田ダム上流域において、**令和4年9月19日3時から9月20日15時の累加雨量(流域平均)が194mm**となり、ダムへの最大流入量は**毎秒約288m³**を記録。
- 今回の防災操作において、最大で**約214万m³の水を貯留**し、下流の河川へ流す水量を最大流入時で**毎秒約83m³低減**。
- ダム下流の津山地点(岡山県津山市昭和町)では**約59cm**の水位を低減させる効果があったものと推定。



苦田ダム貯水池の状況



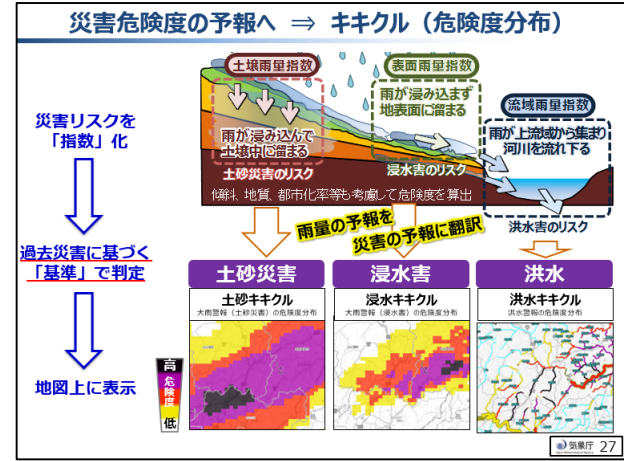
津山地点(津山市昭和町今井橋付近)における水位低減効果



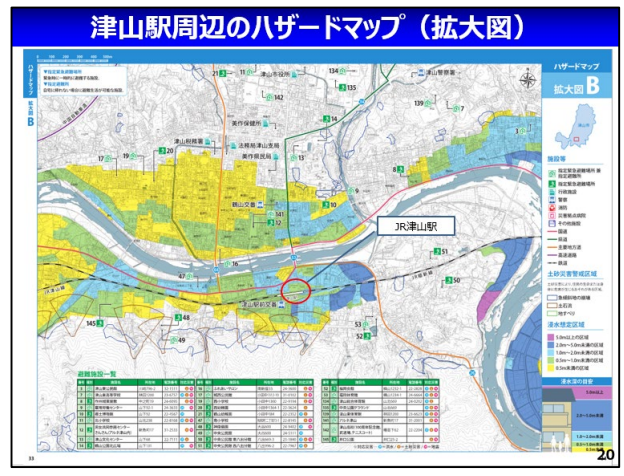
防災教育や防災知識の普及(吉井川水系)

■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

- 開催日時: 令和4年6月8日 13:30~14:30
- 実施機関: 岡山地方気象台
- 受講者: 岡山県立津山工業高等学校(255名:生徒及び教職員)
- 開催場所: リモート講演(Zoom)
- 概要:
 - 高校生及び教職員の防災意識の更なる啓発と、気象知識の更なる習得のため。
 - 異常気象が引き起こす風水害や地震など、災害についての正しい知識と地域防災の在り方について説明を行った。



■受講を終えての校長先生(受講者)のお礼状
 「防災教育講演会」に業務御多忙の折りにもかかわらず、講師としてご講演いただき、厚くお礼申し上げます。
 今年も新型コロナウイルス感染症対策のためにリモートで講演いただきまして大変お手数をおかけしました。
 自然災害から命を守るために知っておかねばならない具体的なお話を丁寧にしていただき、生徒は関心を高めたようです。
 学校生活や、地域の一員として、今回のお話を活かしていけるよう努めてまいりたいと存じますので、今後ともご指導くださいますようお願い申し上げます。



■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

- 開催日時: 令和4年10月26日 9:25~10:25、10:45~11:45
- 実施機関: 岡山地方気象台
- 受講者: 170名(小学3年生(5クラス)と教員)
- 開催場所: 鹿田小学校
- 概要:

○気象台の紹介とペットボトル竜巻を用いた実験をおこない、防災意識の更なる啓発と、気象知識の更なる習得のため。

○説明や実験の後、約10分間の質問コーナーとしたが、子供たちの質問が多く、何人かの質問を受ける事ができなかった。このことから、2回目は約20分質問コーナーとしたが、時間中に全員の質問を受ける事ができなかった。



たつまき つく
ペットボトルで竜巻を作ってみよう!

ペットボトル竜巻を
作ってみよう!

完成品

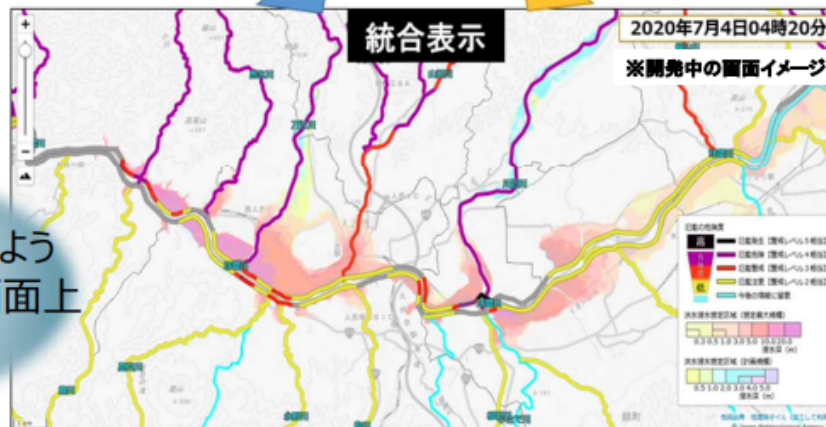
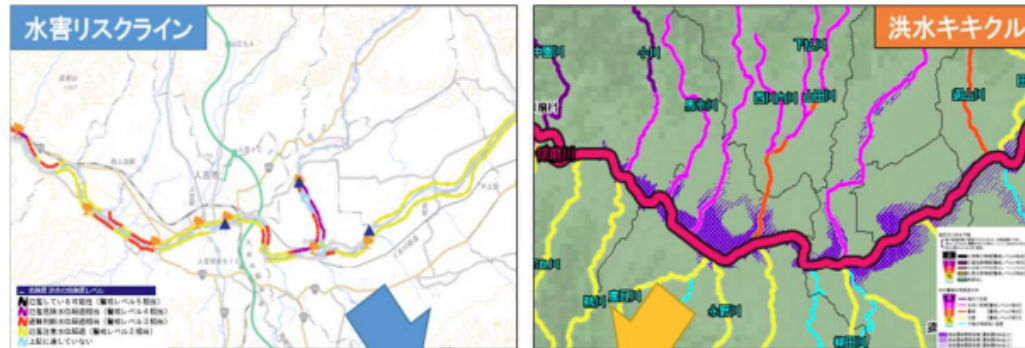
■水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示

■提供日時: 令和5年2月16日(木)

■実施機関: 国土交通省 水管理・国土保全局、気象庁

■概要: 地域の危険度を一元的に確認できるよう、気象庁ホームページ画面上で一体的に表示。

- 大河川では、河道や水位情報が充実。国管理河川においては、きめ細かな越水・溢水リスクを伝える「国管理河川の洪水の危険度分布」(水害リスクライン)を令和2年から運用開始。
- 中小河川では、水位情報などが無いため、地形情報や気象情報(雨量予測)をもとに中小河川の洪水危険度を伝える「洪水警報の危険度分布」(洪水キキクル)を運用中。
- 自治体、住民がリアルタイムに必要なリスク情報を把握するため、それぞれの危険度をワンストップで容易に確認できるよう、令和4年度の運用開始を目標に整備。



地域の危険度を
一元的に確認できるよう
気象庁ホームページ画面上
で一体的に表示